

県北建設 今昔フォトギャラリー 記録No.4 (旧)福島紅葉山線

～今は無き乳剤舗装工～

昭和10年頃の姿（戦前）



平成30年の姿



※現在は、国道13号交差点より手前が県道水原福島線、奥側（信夫山方向）が福島市道となっています。

【当時の写真の概要】

県庁通り（当時の県道福島紅葉山線）で撮影されたもので、現在の県道水原福島線と国道13号の交差点を信夫山方向に撮影した写真です（福島市大町地内）。写真右側の作業員は、路面にアスファルト乳剤を散布しています。

当時は、乳剤と砕石を交互に散布して道路の強度を高める**乳剤舗装**という簡易的な舗装工法がしばしば用いられていました。

【当時の写真より気づいた点】

- 写真奥に写る信夫山の稜線により撮影位置が特定できましたが、現在は平和通り（国道13号）が横断するなど、当時の状況と全く異なっている。
- 写真左手には通行している人たちが工事の状況をももの珍しそうに眺めているようすがわかる。
- 乳剤の散布には、ジョーロ型乳剤散布器（先端に平板がついている）を用いることで、幅広く散布できるよう工夫が施されていることがわかる。